

新企画

最新トピック・品質経営に関する講演を  
気軽に聴講したい！  
環境を選ばず学びたい！あなたに…

# J-Channel オンライン講演シリーズ

(2020年10月～12月開催分)

## J-Channelとは

- 日科技連がニューノーマル時代対応の新価値を提供するオンライン形式の講演シリーズ
- 2020年度は、毎週金曜日(原則) 午前1講演、午後1講演。1日2講演を生配信
- 日科技連が誇る、産・学一流の講師による、質の高い講演、様々な分野の講演をリーズナブルな価格でご提供

安全な環境下での学びを実現

3密を避け、安全に職場・自宅から環境を選ばず聴講できる

豊富なラインアップ

各界のレジェンドから、新講師が登場！  
生配信だからチャットで直接講師との質疑応答が可能

お手頃な参加費で質の高い講演

高クオリティな講義が、1講演1万円(税抜)で参加できる



J-Channel

2020年度は48講演を実施！(2021年1月～3月のラインアップは、10月中旬公開予定)

## 〈主な講演者(一例)〉

レジェンド

10/9金



狩野モデル (Kano Model)

—収益向上に向けた  
魅力品質創造によるTQM—

狩野 紀昭 氏  
東京理科大学 名誉教授

技術・開発  
・技術革新

11/6金



選択と集中による開発革新

人見 光夫 氏

マツダ(株)  
シニアイノベーションフェロー

ニューノーマル

10/16金



台湾のコロナ戦に学ぶ  
リスク管理とリーダーシップ  
—世界から称賛される台湾の  
新型コロナウイルス対策に学ぶ—

藤 重太 氏

元 台湾經濟部政府系シンクタンク 顧問  
(株)アジア市場開発 代表取締役

※講演の詳細、他の講演リストは、中ページをご覧ください。

講演のお申込、J-Channel のラインアップはこちらから

<https://www.juse.jp/j-channel/>

一般財団法人日本科学技術連盟 J-Channel担当

電話：03-5378-9811 ✉: [j-channel@juse.or.jp](mailto:j-channel@juse.or.jp)

日科技連 J-Channel

検索



▶ 社内研修・講演会の「安全な開催方法」についてお悩みのご担当者様

J-Channelは、社内教育研修の一つとしても、ご利用いただけます。お気軽にお問合せください。

ジャンル	No.	日時	テーマ	講師 (敬称略)	所属・役職
レジェンド	04	10月9日(金) 13:30～15:30	狩野モデル(Kano Model)―収益向上に向けた魅力品質創造によるTQM―	狩野 紀昭	東京理科大学 名誉教授
	14	11月13日(金) 13:30～15:30	顧客満足度を高めるサービスオリテイ	池部 信夫	㈱キュー・エム・アイ 代表取締役社長
ニューノーマル	01	10月2日(金) 10:00～12:00	製造業の次世代化を実現するデジタルトランスフォーメーション(DX)	福本 勲	㈱東芝 デジタルイノベーションテクノロジーセンター チーフエバンジェリスト
	02	10月2日(金) 13:30～15:30	不確実性の高い職場において「トヨタ生産方式」で目覚ましい成果を出すには ―研究開発、イノベーション、ソフトウェアでもけた外れの成果を出す流れの4つの概念	岸良 裕司	㈱ゴールドドラットジャパン CEO
	05	10月16日(金) 10:00～12:00	台湾のコロナ戦に学ぶリスク管理とリーダーシップ ―世界から称賛される台湾の新型コロナウイルス対策に学ぶ―	藤 重太	元 台湾經濟部政府系シンクタンク 顧問 ㈱アジア市場開発 代表取締役
	11	11月6日(金) 10:00～12:00	危機がDXを加速する理由とは? ―デジタルトランスフォーメーションの成功の秘訣「チェンジ・ザ・ルール」の6つの質問	岸良 裕司	㈱ゴールドドラットジャパン CEO
	20	12月4日(金) 13:30～15:30	イノベーションの制約とは何か? ―イスラエルで開発されたイノベーションの制約を解き放つ3つの目	岸良 裕司	㈱ゴールドドラットジャパン CEO
	22	12月11日(金) 13:30～15:30	コロナ後の世界を俯瞰する ～ニューノーマル時代の製造業～	松島 克守	(一社)俯瞰工学研究所 所長
企業ベストプラクティス	06	10月16日(金) 13:30～15:30	TQM推進によるビジョン経営の実践 ―デミング賞・同大賞への挑戦を通じたレクサス工場の進化―	米岡 俊郎	㈱P&Qコンサルティング 代表取締役
	07	10月23日(金) 10:00～12:00	ホンダにおける品質フィロソフィーとその実践	向井 正人	(同)Masatoko-QMS 代表
	16	11月20日(金) 13:30～15:30	ダイハツ工業における「顧客価値創造」の実践 ―コロナ禍での新たな働き方―	高見 達朗	ダイハツ工業(株) カスタマーサービス本部 役員
	18	12月1日(火) 13:30～15:30	デンソーサーマル事業グループにおけるホワイトカラーの働き方改革の取り組み	樋口 和宏	㈱デンソー サーマル生産技術開発部 キャリアエキスパート
衆知錬成の意思決定	17	12月1日(火) 10:00～12:00	スタンフォードで学んだ最強の意思決定 ―メンバーの知恵を錬成する7つのプロセス―	籠屋 邦夫	ディシジョンマインド社 代表
事業戦略	19	12月4日(金) 10:00～12:00	SDGsと事業戦略 ～SDGsの基本と中期経営計画への組み込み	松原 恭司郎	キュー・エム・コンサルティング 取締役社長
問題解決・改善	10	10月30日(金) 13:30～15:30	仕事の改善に役立つことばのデータ活用法 ―“ことば”を正しく理解すれば、あらゆる改善ができる!―	猿渡 直樹	NSMコイルセンター(株) 安全・品質本部 副本部長
	26	12月25日(金) 13:30～15:30	創造技法の実践例を学び、職場での活用法を学ぶ	高橋 誠	㈱創造開発研究所 代表
AI・ビッグデータ	23	10月18日(金) 10:00～12:00	DX(デジタルトランスフォーメーション)推進に必修! ～初心者でもわかるAIとディープラーニング、ビッグデータ	西垣 貴央	青山学院大学 理工学部経営システム工学科 助教
	25	12月25日(金) 10:00～12:00	問題解決における機械学習の活用	犬伏 秀生	㈱日本科学技術研修所 データサイエンス部 部長
設計・開発・技術革新	12	11月6日(金) 15:00～17:00	選択と集中による開発革新	人見 光夫	マツダ(株) シニアイノベーションフェロー
	13	11月13日(金) 10:00～12:00	タグチメソッドによる技術開発 ブレークスルーを実現する新しいアプローチ	細川 哲夫	㈱リコー イノベーション本部 エグゼクティブスペシャリスト 博士(工学)
設計・開発革新	09	10月30日(金) 10:00～12:00	新時代を生き抜くための、お客様ファーストの新製品開発から商品化までのプロセス変革 ―開発設計生産性革命のためのプロジェクト型品質マネジメント手法(PQM)	江間 裕通	リコーテクノロジーズ(株) 執行役員 周辺機事業本部 本部長
信頼性・安全性	03	10月9日(金) 10:00～12:00	今、改めて考える信頼性の重要性 ―信頼性の基本と手法、信頼性の問題解決/再発防止/未然防止―	島川 邦幸	元 富士ゼロックス(株)
	15	11月20日(金) 10:00～12:00	未然防止のための過去トラス集の作り方・使い方 ―品質問題をゼロにするFMEA・DR実施方法―	本田 陽広	㈱ワールドテック 講師
未然防止	24	12月18日(金) 13:30～15:30	未然防止型QCストーリー	中條 武志	中央大学 理工学部経営システム工学科 教授
ソフトウェア品質	08	10月23日(金) 13:30～15:30	これからソフトウェア開発に関わる方のための「ソフトウェア品質保証のポイント」 ～ハードウェアとの比較から～	誉田 直美	㈱イデソン 代表取締役 公立はこだて未来大学 客員教授 工学博士
医薬品の品質	21	12月11日(金) 10:00～12:00	医薬品の費用対効果評価入門	森脇 健介	立命館大学 総合科学技術研究機構 医療経済評価・意思決定支援ユニット 准教授

※2020年8月25日現在 ※都合により、講演者・テーマが変更になる場合があります。

## 講演内容詳細

10:00～12:00

13:30～15:30

### 01 ニューノーマル

#### 製造業の次世代化を実現する デジタルトランスフォーメーション(DX)

ふくもと いさお  
福本 勲 氏  
(株)東芝 デジタルイノベーションテクノロジーセンター  
チーフエバンジェリスト

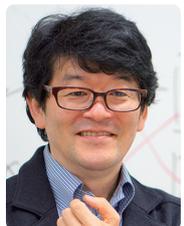


**DXによる製造業の進化の姿、様々なプレイヤーとのつながり方を解説!**  
現在、多くの企業が、将来の成長・競争力強化のために、デジタルトランスフォーメーション(DX)の取り組みを進めつつあります。しかし、IoTやAIなどのテクノロジー面の話題が先行し、ビジネスモデルの具体像をどう描けばよいのか、自社が保有する差別化・優位性はどのように発揮すればよいのか、他社との連携はどのように実現すればよいのかなど、進むべき方向と進め方に悩む企業や実務者は依然多いと考えられます。  
本講演では、DXの実現において重要となるステージや、様々なプレイヤーがつながる場を支える「リファレンスアーキテクチャー」、それを活用した製造業の次世代化に向けた取り組み事例などについてお話しします。

### 02 ニューノーマル

#### 不確実性の高い職場において「トヨタ生産方式」 で目覚ましい成果を出すには ―研究開発、イノベーション、ソフトウェアでもけた外れの 成果を出す流れの4つの概念

きしら ゆうじ  
岸良 裕司 氏  
(株)ゴールドドラットジャパン  
CEO



**トヨタ生産方式の根本概念を科学的に解明!**  
全世界で1000万人が読んだベストセラー『ザ・ゴール』の著者ゴールドドラット博士が、常に敬愛してやまなかった人が『トヨタ生産方式』の著者、大野耐一氏であることは世界中で広く知られているところです。  
「学者として理論化しなさい」と大野耐一氏に直接出会った時に物理学者として宿題をもらった若きゴールドドラット博士が、トヨタ生産方式(TPS)の根本概念をどうやって科学的に解明し、不確実性の高い環境においても、成果を出すにはどうしたらいいのかを明らかにしたか、目覚ましい成果の事例とともにご紹介いたします。  
大野耐一氏やゴールドドラット博士に出した宿題について語られた貴重なビデオも紹介します。

10:00～12:00

## 03 信頼性・安全性

## 今、改めて考える信頼性の重要性

—信頼性の基本と手法、  
信頼性の問題解決／再発防止／未然防止—しまかわ くにゆき  
島川 邦幸 氏  
元 富士ゼロックス(株)

## 品質損失コスト削減とCS向上に役立つ信頼性の基本を平易に解説!

信頼性は、お客様満足度と品質損失コストに大きく影響することから、まさに経営課題のひとつと言えます。さらに近年、部品の共通化やシステムの巨大化が進むに従い、ひとつの故障や人のミスが大規模リコールや大きな事故に繋がる時代になり、信頼性が益々重要になっています。したがって、将来おこるかもしれない問題に対応するため、いわゆる設計技術者だけでなく、企業様の様々な部門のスタッフ、マネージャーが信頼性技術の知識とセンスを身に着け、全社で未然防止を図ることが期待されます。

本講演では信頼性の基本的な要素および、問題解決／再発防止／未然防止とそれに役立つ信頼性手法の概要を紹介いたします。

13:30～15:30

## 04 レジェンド

## 狩野モデル (Kano Model)

—収益向上に向けた魅力品質創造によるTQM—

かのう のりあき  
狩野 紀昭 氏  
東京理科大学 名誉教授

## 世界のDr.狩野が語る「狩野モデル」による魅力的品質創造!

「魅力品質と当り前品質」で代表される狩野モデルは、長年にわたり不良・クレーム等の後ろ向きの意味から品質をとらえてきた品質管理界に、顧客歓喜・顧客満足等の前向きな意味からも品質に取り組んでいく考え方を示したということで世界的に評価されています。

本講演では、これからのTQMはコスト低減に向けた当り前品質の確保に加えて、狩野モデルに基づく魅力品質創造により、前向き品質を実現し、収益向上に向けた活動として展開していく必要のあることを事例を交えて論じます。

10:00～12:00

## 05 ニューノーマル

台湾のコロナ戦に学ぶ  
リスク管理とリーダーシップ—世界から称賛される  
台湾の新型コロナウイルス対策に学ぶ—ふじ じゅうた  
藤 重太 氏  
元 台湾經濟部政府系シンクタンク 顧問  
(株)アジア市場開発 代表取締役

## 台湾のコロナ戦をビジネス活かす!

台湾のコロナ対応はなぜ世界で賞賛されているのでしょうか。台湾は、初動が迅速且つ的確で、水際対策、隔離政策も徹底的に行い、死者は7名、4月から100日以上国内感染者ゼロを達成しました。しかも、2020年上半期を台湾はプラス成長で乗り越え、さらに2021年もプラス成長を見込んでいます。今回、とくに皆様にお伝えしたいことは、台湾のコロナ対応を軸として、有事の際のリーダーシップとコミュニケーション、危機管理能力の重要性、蔡英文総統から学ぶトップの覚悟と責任、過去の失敗から何を学ぶのか、そして台湾の今後の経済成長戦略と国際情勢です。また、日本のアフターコロナについてもお話しできればと考えています。

13:30～15:30

## 06 企業ベストプラクティス

## TQM推進によるビジョン経営の実践

—デミング賞・同大賞への挑戦を通じた  
レクサス工場の進化—よねおか としろう  
米岡 俊郎 氏  
(株)P&Qコンサルティング  
代表取締役

## デミング大賞受賞の中で育んだ「レクサス工場」の進化!

レクサス車を製造するトヨタ自動車九州(株)は、経営ビジョンの実現のため、その戦略的目標を達成するための推進力としてデミング賞に挑戦し、2019年にはデミング賞大賞を受賞しました。

同社がデミング賞への挑戦を通じて実践したTQM活動、とくにその中で方針管理、組織能力向上の仕組みや小集団活動の活性化、品質向上の取組みなどについて事例を交えて説明します。

10:00～12:00

## 07 企業ベストプラクティス

## ホンダにおける品質フィロソフィーとその実践

むかい まさと  
向井 正人 氏  
(同)Masatoko-QMS  
代表

## ホンダフィロソフィーに学ぶ品質向上と競争力の向上!

この度、37年間に渡るホンダでの企業人として経験したこと、学んだことをまとめました。前半の24年間は、研究所での二輪車のエンジン設計の経験と所運営の経験。後半の13年間は、製作所(創業の地、浜松製作所)に転勤後、二輪事業本部の品質保証部長を務めるまで 品質管理にまつわる経験を語ります。資料は、第一部は品質の考え方、第二部はその実践事例として二部構成でまとめました。ホンダフィロソフィーに掲げられた人間尊重の企業文化のなかで、自分の正しいと思ったことは挑戦する価値があると考えます。今回は、創業者である、本田宗一郎の生の声も紹介しながら、ホンダにおける品質フィロソフィーとその実践事例を紹介いたします。企業の競争力の強化、顧客価値の創造、持続的な成長のための変革に向けたヒントを提供できれば幸いです。

13:30～15:30

## 08 ソフトウェア品質

これからソフトウェア開発に関わる方のための  
「ソフトウェア品質保証のポイント」

～ハードウェアとの比較から～

ほんだ なおみ  
誉田 直美 氏  
(株)イデソン 代表取締役  
公立はこだて未来大学 客員教授 工学博士

## ソフトウェア品質保証のポイントを、ハードウェアとの比較から解説!

世界的なコロナ禍の影響を受けて、新常态が議論されています。このネット中心の社会生活が始まる以前から、人工知能(AI)やIoTの進展により、ソフトウェアの重要性は増しつつありました。今後も急速なソフトウェア化の流れは続くと思われ、より多くの方がソフトウェア開発に関わるようになって考えられます。

このような現状を受けて、本講演では、今までソフトウェア開発との関りが少なかった方々へ向けて、ソフトウェア品質保証のポイントを、特にハードウェアとの比較という視点からわかりやすく解説します。

従来からのハードウェアと同じソフトウェア品質保証のポイントはあのか、異なるポイントがあるとするればそれは何かをわかりやすく説明し、現場でのソフトウェア品質保証の一助とすることを目指します。

10:00～12:00

09 設計・開発革新

新時代を生き抜くための、お客様ファーストの新製品開発から商品化までのプロセス変革  
—開発設計生産性革命のための  
プロジェクト型品質マネジメント手法(PQM)

えま ひろみち  
江間 裕通 氏  
リコーテクノロジーズ(株)  
執行役員 周辺機事業本部 本部長



「新製品開発→商品化まで」のプロセスイノベーションの実例を紹介!  
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の世界的蔓延により世界中の企業が変革を余儀なくされています。この時代を生き抜くためにはアフターコロナ、ウイズコロナの新しい時代に合わせたお客様ニーズにあった商品開発が求められます。  
本講演では、リコーテクノロジーズで推進しているプロジェクト型品質マネジメント手法(PQM)の紹介と、この時代を生き抜くために、お客様にとって自社製品がなくてはならない存在にするための商品開発をどのように進めるかについて、具体的な事例とともに解説します。

13:30～15:30

10 問題解決・改善

仕事の改善に役立つことばのデータ活用法  
—“ことば”を正しく理解すれば、あらゆる改善ができる!—

ざるわたり なお き  
猿渡 直樹 氏  
NSMコイルセンター(株)  
安全・品質本部 副本部長



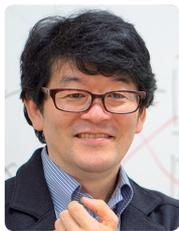
誰でもできる! すべては、「ことばを正しく理解すること」  
いろいろな改善手法において、ことばのデータ(言語データ)を使用する手法を使う時に、そのことばのデータについて考えておくべきことや、ことばのデータ取り扱い時の注意点などを、2020年6月27日に(株)日科技連出版社より発行された「仕事の改善に役立つ ことばのデータ活用法」に基づいて解説します。  
この書籍の内容は、QCサークル千葉地区での研修会などで培われた知識に基づいておりますので、より実践的な解説を皆様にお届けしたいと思います。

10:00～12:00

11 ニューノーマル

危機がDXを加速する理由とは?  
—デジタルトランスフォーメーションの成功の秘訣  
「チェンジ・ザ・ルール」の6つの質問

きしら ゆうじ  
岸良 裕司 氏  
(株)ゴールドドラットジャパン  
CEO



ITプロジェクト失敗のレシピと危機がDXを加速する理由!  
「IT投資によるテクノロジー装備だけでは、利益向上にはつながらない。なぜなら、何もルールが変わっていないからだ」全世界で1000万人が読んだベストセラー『ザ・ゴール』の著者ゴールドドラット博士のキャリアは、「OPTO」という工場の制約に集中してスケジューリングする画期的なソフトウェアを開発したことに始まります。実は彼は、DXの草分けのような存在で、『チェンジ・ザ・ルール』という著作で、ルールを変えることの重要さとITがパワフルな力を発揮する条件を明らかにします。  
本講演では、ITプロジェクトが失敗するレシピと危機がDX(デジタルトランスフォーメーション)を加速する理由をご紹介します。

15:00～17:00

12 設計・開発・技術革新

選択と集中による開発革新

ひとみ みつお  
人見 光夫 氏  
マツダ(株)  
シニアイノベーションフェロー



マツダの「ミスターエンジン」が語る、ものづくりと開発革新  
マツダはバブル崩壊、リーマンショック等でたびたび危機を迎えました。その中で、厳しい燃費規制などは待たなして迫ってきており、他社はハイブリッドや電気自動車などを導入していたがマツダには将来に向けて技術を開発する人間が大幅に不足しており他社のような対応は到底とれません。そこで我々がとったのは多くの課題に通じる共通課題を見つけそこに集中するというマツダ流の選択と集中です。  
技術開発、プロセス革新などのあらゆる局面で、この考え方で対応してきたことをご紹介します。

10:00～12:00

13 設計・開発・技術革新

タグチメソッドによる技術開発  
ブレークスルーを実現する新しいアプローチ

ほそかわ てつお  
細川 哲夫 氏  
(株)リコー イノベーション本部  
エグゼクティブスペシャリスト 博士(工学)



タグチメソッドによるブレークスルーの実現!  
タグチメソッドは技術の評価方法であると言われてはいますが、その具体的な狙いはこれまでは十分に説明されていませんでした。  
本講演ではタグチメソッドにおける技術の評価の狙いはブレークスルーを実現することであり、技術者の自律的な意思決定がブレークスルーの原動力であることを具体的な事例で解説します。さらに、これまでのタグチメソッドの課題を解決し、技術開発を効果的に実施する技法CS-T法についても解説します。

13:30～15:30

14 レジェンド

顧客満足度を高めるサービスオリティ

いけべ のぶお  
池部 信夫 氏  
(株)キュー・エム・アイ  
代表取締役社長



石川馨先生の愛弟子が語る、いま改めて考えるサービスオリティ!  
サービス産業における顧客満足度(CS)については、いろいろな視点から時代を越えて注目されています。  
そこで、顧客満足度を高めるための考え方と実践についての問題点を、事例(飲食、居酒屋、ファミリーレストラン、病院、航空、鉄道など)に基づいて実態を把握し、業種に応じた改善案、改良案によるCS向上のための方向性について述べ、その他のサービス産業における品質管理的(QC的)考え方を実践していただくための参考になればと思います。

10月30日金

11月6日金

11月13日金

10:00～12:00

15 信頼性・安全性

未然防止のための過去トラ集の作り方・使い方  
—品質問題をゼロにするFMEA・DR実施方法—

ほんだ あきひろ  
本田 陽広 氏  
(株)ワールドテック  
講師



FMEA・DRを真の未然防止につなげるための方法!

大手自動車メーカーを中心に国内製造業では、FMEAやDR(設計審査)が実施されていますが、30件超え/毎月のリコールに象徴されるように、未然防止に役だっていません。

よく言われるのが、「FMEAを実施しても何の役にも立たない」「DRは、議論が分散する」「活発な議論にならない」「形式的に実施しているだけ」などです。これらを解消する方法を教えます。

- 1.品質問題をなくす設計とFMEA・DRの考え方
- 2.過去トラ集の集め方・まとめ方
- 3.設計不具合の反省
- 4.未然防止の活動事例
- 5.過去トラ集の管理の仕方
- 6.ソフト面(人、業務管理、ルール)の改善

13:30～15:30

16 企業ベストプラクティス

ダイハツ工業における『顧客価値創造』の実践  
—コロナ禍での新たな働き方—

たかみ たつろう  
高見 達朗 氏  
ダイハツ工業(株)  
カスタマーサービス本部 役員



顧客価値創造へのダイハツのチャレンジとニューノーマルな働き方改革!

ダイハツ工業は、創立120年近い歴史の中で、「お客様に最も寄り添う企業」を理念として、「如何にお客様に寄り添い、お客様と共に新たな価値を創出」することを常に目指しています。

顧客価値創造=コト作りの創出は、企業として収益を生み出すビジネスの潮流として成功していく案件は限られるため、社員全員の意識改革つまり「溢れ出る付加価値アイデアとそれを実践していくスピード」が鍵となります。

本講演では、事例を交えて、「顧客価値創造」のためのダイハツのチャレンジとコロナ禍の中でのNew Normalな働き方改革について紹介します。

10:00～12:00

17 衆知錬成の意思決定

スタンフォードで学んだ最強の意思決定  
—メンバーの知恵を錬成する7つのプロセス—

こもり やくにお  
籠屋 邦夫 氏  
ディビジョンマインド社  
代表



最強の意思決定のための7つのプロセス!

日本企業はトップダウンでなく衆知を集めた経営をしてきたと言われます。しかし実際には、多くの企業で衆知が雲散しているのが実態です。

本講演ではまず、「衆知雲散の4つのレベル」として、「弱い個」病、「衆知破壊」病、「意味不明」病、「積みあがらない/噛み合わない」病を紹介しします。

次にそれを克服し、様々な持ち味と特質を持つ人たちの知恵と知識を紡ぎ合わせて価値創造に結び付ける「衆知錬成の4ステップ」の考え方、具体的には「独力力強化」、「衆知活性化」、「衆知実体化」、「衆知構造化」を解説します。加えて、衆知錬成を着実に実現するための実践的方法論を説明します。

13:30～15:30

18 企業ベストプラクティス

デンソーサーマル事業グループにおける  
ホワイトカラーの働き方改革の取り組み

ひぐち かずひろ  
樋口 和宏 氏  
(株)デンソー  
サーマル生産技術開発部 キャリアエキスパート



デンソーにおけるホワイトカラーの働き方改革の実践事例!

デンソーサーマル事業グループでは、これまでの様々な組織力強化の取り組みにおける経験から、その実現に向けては、「『正しい仕事の進め方』を『正しく実践』することが出来る組織」を作り上げる」ことが重要であると考えています。

そして、そのような組織実現に向けては、①職場のコミュニケーションの超活性化、②業務の目的・ゴールの明確化、③バックキャスト思考による計画の作成、④アナログ思考による「仕事の段取り」の徹底的な見える化が必要であると考え、新たな取り組みを開始しました。その結果、「後戻り」や「やり直し」の削減による業務の効率化を通じて、「働き方改革」の方向性を示すことが出来たので紹介します。

10:00～12:00

19 事業戦略

SDGsと事業戦略  
～SDGsの基本と中期経営計画への組み込み

まつばら きょうしろう  
松原 恭司郎 氏  
キュー・エム・コンサルティング  
取締役社長



SDGsの基本を学び、経営計画へ組み込む!

国連によるSDGs(持続可能な開発目標)の採択(2015年)、経団連によるSDGsに配慮した「企業行動憲章」の改訂(2017年)、GPIFによるESG要因を考慮した投資のスタートなど、社会・環境に配慮した事業戦略の策定とステークホルダーへの発信の重要性が高まっています。

- 1.SDGsの基礎知識
  - (1)SDGsの背景と概要 (2)SDGs関連のキーコンセプト (3)統合報告他
  - 2.SDGsを組み込んだ戦略マネジメントと進め方
  - (1)SDGs対応戦略マネジメントのアプローチ (2)SDGsを組み込んだ価値創造ストーリーの見える化
- 近著に「図解ポケットSDGsがよくわかる本」(秀和システム)があります。

13:30～15:30

20 ニューノーマル

イノベーションの制約とは何か?  
—イスラエルで開発されたイノベーションの制約を  
解き放つ3つの目

きしら ゆうじ  
岸原 裕司 氏  
(株)ゴールドラットジャパン  
CEO



イノベーションプロセスE4V(Eyes For Value)活用のおすすめ

イノベーションは一部の天才にしかできないものでしょうか? 世の中にイノベーションを加速する様々な方法が紹介されていますが、導入して目覚ましい成果を出したという話はあまり出てきません。もしも思ったような効果が出ないとしたら、その努力は的外れなモノなのかもしれません。

本講演では、「イノベーションの制約とは何か?」という問いに真正面から取り組み、目覚ましい成果を次々と出し、イノベーション先進国イスラエルで生まれたイノベーションプロセスE4V(Eyes For Value)を紹介しします。イノベーションをいかに創り、鍛え上げるか、発想から事業化までのすべてのプロセスを網羅したプロセスと目覚ましい事例をご紹介します。

11月20日金

12月1日火

12月4日金

10:00～12:00

## 21 医薬品の品質

## 医薬品の費用対効果評価入門

もりわき けんすけ  
森脇 健介 氏立命館大学 総合科学技術研究機構  
医療経済評価・意思決定支援ユニット 准教授

## 医療技術の保険償還、価格算定のあり方を医療経済の視点で考える！

医療費膨張の問題に直面した近年、医療技術の有効性、安全性に加えて、費用対効果の視点が非常に重要となっており、欧米諸国では多様な医療技術の費用対効果評価が実施され、診療上あるいは医療政策上の意思決定に活用されています。日本でも2019年度より医療技術の価格調整において費用対効果のエビデンスを活用する制度が開始されています。今後、産官学協働のもと、日本の公的医療の立場から様々な医療技術の費用対効果評価を推進することが必要となります。本講演では、悪性腫瘍に対する薬物治療の費用対効果評価の事例を用いて、その分析手法を概説し、我が国における課題を整理することを通して、今後の我が国における医療技術の保険償還や価格算定のあり方を医療経済の視点から考える上での材料を提供します。

13:30～15:30

## 22 ニューノーマル

コロナ後の世界を俯瞰する  
～ニューノーマル時代の製造業～まつしま かつもり  
松島 克守 氏  
(一社)俯瞰工学研究所  
所長

## コロナ後の世界はどう変わっていくのか？

コロナ後の製造業は、モノづくり、コトづくり、という概念の否定が必要で、加えて、カイゼン、PDCAも否定して、新しい世界に適應する製造業を創り出す必要があります。プラン、出来る事をやる、現状の改善、これはイノベーションの否定です、これで日本の製造業は崩落して周回遅れの技術後進国になりました。在宅勤務が出来ない管理スタッフ...未だ紙とFAX?デジタル後進国の実態が露呈しました。創造破壊的な観点から、製造業のモデルを議論します。

10:00～12:00

## 23 AI・ビッグデータ

DX(デジタル・トランスフォーメーション)推進に必修!  
～初心者でもわかるAIとディープラーニング、ビッグデータにしがき たかひろ  
西垣 貴央 氏  
青山学院大学  
理工学部経営システム工学科 助教

## 今さら聞けないAI、ディープラーニング、ビッグデータの第一歩!

近年の多くのメディアで取り上げられるAI(人工知能)とは何なのでしょう。他にもビッグデータ解析、ディープラーニング、機械学習など、当たり前のように入らぬ単語が出てきますが、それら単語の意味や違いについて理解している人はどれぐらいいるのでしょうか。本講演では、AIの歴史と様々な機械学習手法の基礎を学ぶことで、日常的に使用されているAI、ビッグデータ解析、ディープラーニング、機械学習とは何なのかを説明します。

13:30～15:30

## 24 未然防止

## 未然防止型QCストーリー

なかじょう たけし  
中條 武志 氏  
中央大学  
理工学部経営システム工学科 教授

## 「未然防止型QCストーリー」に取り組んでみよう!

問題解決に多くの人が取り組んできた結果、個々の問題の発生率は非常に低くなってきました。反面、これらの問題はあまり顧みられることなく職場の中に潜在し、表に現れて来たときには大きな問題となる場合が少なくありません。未然防止は、「起こった問題」ではなく「起こりそうな問題」を対象にするという点が違うだけで、基本は従来の問題解決と同じです。ただ、どう取り組んだらよいのか悩んでいる人も少なくありません。本講演では、2008年に『QCサークル誌』の連載講座の中で提唱された「未然防止型QCストーリー」について紹介します。未然防止型QCストーリーは、人のうっかりミスや設備・機器の故障によるトラブルを防ぐためや、職場の安全を確保したり、業務の生産性を向上させたり、新製品・新サービスをトラブルフリーで立ち上げたり、災害等に対する準備を抜かりなく行うためなど、様々な場面で活用できます。

10:00～12:00

## 25 AI・ビッグデータ

## 問題解決における機械学習の活用

いぬぶし ひでお  
犬伏 秀生 氏  
(株)日本科学技術研修所  
データサイエンス部 部長

## 代表的な機械学習と問題解決における有効活用場面の紹介!

近年、情報システムの整備やIoTなどにより、品質管理の分野においても、より多くのデータが収集され、活用できる状況になっています。このような状況の中、より多くのデータから問題解決のための知見を得る手段として、「機械学習」が注目されています。本講演では、代表的な機械学習の紹介と問題解決における機械学習の有効な活用場面をご紹介します。また、機械学習を活用する上でのポイントや機械学習を実行するためのソフトウェアなどもご紹介予定です。

13:30～15:30

## 26 問題解決・改善

創造技法の実践例を学び、  
職場での活用法を学ぶたかはし まこと  
高橋 誠 氏  
(株)創造開発研究所  
代表

## 誰もが持っている創造性を事例でスキルアップ!

2回にわたり、ビジネス創造に活用する「創造的問題解決の技法」を紹介します。創造的なビジネスの実践には、「5つのP」が大切と考えます。それらは、Principle(創造の基本)、Principal(創造の主体)、Place(創造の分野)、Process(創造の手順)と、Procedure(創造の技法)です。ビジネスの創造には、この5つのPをしっかりと理解し、推進しなければなりません。本講演は、このPの中の最後のP、Procedure(創造の技法)の紹介が、主たる目的です。様々な組織で多彩な問題解決に取り組んでおられる皆さんは、創造的な問題解決の技法について、すでにいろいろ学んでいられると思います。この創造技法の代表的な手法の概要と進め方を紹介するとともに、現場での活用に役立つ具体例や実践例を紹介します。特に、企業や教育界などの現場での具体例を話し、皆さまの職場での実践に役立てたいと思います。